

皇太子御降誕を祝ぐ 民草の記念事業

すでに全鮮で二百件

皇太子御降誕の祝賀は、各地方の民草が熱烈な祝賀を呈じている。本邦の民草は、皇太子御降誕の祝賀を、各地の民草と共に、一面の祝賀の雲を成している。

ホテルで打合せて 某所へ忍び行

彼を縛る女性の取調へ進む 『ミス茂』の醜状愈々暴露

『ミス茂』の醜状は、愈々暴露されている。彼女が、ホテルで打合せて、某所へ忍び行、彼を縛る女性の取調へ進む。『ミス茂』の醜状は、愈々暴露されている。

裏切られた怒り男 鎌を揮つて妾殺

首つりをこねて遂に自首す

裏切られた怒り男、鎌を揮つて妾殺。首つりをこねて遂に自首す。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

『主人』居ぬ間に 吉報!! 爆笑の春

わが軍司令官は大将になつた 早くもお喜びの電話

『主人』居ぬ間に、吉報!! 爆笑の春。わが軍司令官は大将になつた。早くもお喜びの電話。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

皇子生れまして あす最初の地久節

皇子生れまして、あす最初の地久節。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。



式業卒のら僕はふけ

京中、龍中 けふ卒業式

集立つ若人の喜び

京中、龍中、けふ卒業式。集立つ若人の喜び。この式典は、地方の新聞に詳しく報道されている。

イルズ機 今夕京城人か

青島から半島に向ふ

イルズ機、今夕京城人か。青島から半島に向ふ。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

熱海の火事

久遠宮大妃殿下御無事

熱海の火事、久遠宮大妃殿下御無事。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

今夜 われらが使節 感激の報告會

京城公會堂で開かれます

新阿山から 慶典に向ふ

第三編 大野慰問使

阿山先生は、慶典に向ふ。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

インキ染料屋

本町署に檢舉さる

インキ染料屋、本町署に檢舉さる。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

朝鮮學生諸君の爲に

京城にて入學審査をなす

朝鮮學生諸君の爲に、京城にて入學審査をなす。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

悪性せきの新薬

有名なる膏藥店に有る

悪性せきの新薬、有名なる膏藥店に有る。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

大分の大火事

三百町歩、損害十五萬圓

大分の大火事、三百町歩、損害十五萬圓。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

日本藝術學園

規則請求場所 京城府古市町 京城電機學校

日本藝術學園、規則請求場所 京城府古市町 京城電機學校。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

文以式株式會社

出版圖書教育

文以式株式會社、出版圖書教育。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

二宮病院

皮膚科 淋病科

二宮病院、皮膚科 淋病科。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

大分県立第一高等學校

校舎新築完了

大分県立第一高等學校、校舎新築完了。この事件は、地方の新聞に詳しく報道されている。

攻撃開始

通商局に依れ、露林省は相害
盟の義務に拘り、低然として鮮
米の強制割取を拒否して主權
し居るものと知ると右露林省の主
張が露軍に於てより確證し居るか
如く我等の絶對に忍ぶべからざる
處なり見聞の報告記をよみ」

生擒つた所は第一石井世
所から近い所で、是故俄然地味
九龍に至るまで馳せ襲ふべきと
期附近には行營百餘個をかか
けたり。所謂あるは國の事をい
語だが、▲朝が眠れる間に日本海軍がそれだ、▲彼も打けるのだといふ調子でもあまい。

[illegible][illegible][illegible]

西に似合はない、裏の面は大小の
置に、^二「^一雲霧や連日など、^二臨海な形
のが描つてゐる、十八九の下彫れ
の、透くらしい、城が空を覆ふに來て
置いた。」
「名物の神皇、川勝でも持つて參
れ。」と、編者をつたへた。これは、^二「^一尼
州郡の國府である周羅り^二の^一城を
左邊でもつた。」

高いのが骨





和やかな集ひ

ゆふべ京城公會堂に開かれた
奉祝學童使節報告會

[illegible]

國境を守る努力

警察官の偉大な労苦

[illegible]

おめでたう。浴びて
兵隊さん街の春

住み良いわが半島に心をひかれて
心こめて名残りの言葉



佐太子金

令郎附^トは半島人士に最も多く
 酸^ヲあり、且^モ鋭^ニまされてゐる
 滿洲事變の最中に朝鮮に來て以
 來、二年になりましたがその間
 に於ける感想としては非常に恰
 出^ハ發^ス其^ノ位^ノの豫定であると

◇ お子様病む

歩七八回隊長だつた

[illegible]

満洲からお役人の
卵を仕入れに

大同學院から根本さん來城
で……けふから恐

國籍法に規定せられたる同族大同盟
の組織は、前記の如く、今日、人生
の前途は、本邦の各親類の、
希望するところに方針
を決定する。

大正四年
朝鮮の
朝鮮新卒業生自名を採用するの
爲めに大韓總督府總務長
官、本龍太郎氏其日午後五時
到市、内地の諸親類へて人、
朝鮮ホテルに投宿したこの就
國籍法に規定せられたる同族大同盟
の組織は、前記の如く、今日、人生
の前途は、本邦の各親類の、
希望するところに方針
を決定する。

大正四年
朝鮮の
朝鮮新卒業生自名を採用するの
爲めに大韓總督府總務長
官、本龍太郎氏其日午後五時
到市、内地の諸親類へて人、
朝鮮ホテルに投宿したこの就

女鳥人イルズさん

げと東京へ

きのふ快よく京城に安着
二度のお目見得

[illegible]

郷軍の大行進

講演會映畫會その他で
大々的に京城軍國の春

薩摩藩邸主家日原晴房、卓座
設所、在館主、實、京城防
備を講ず、臨陣前、市内
分別式とが夫々行はる
る。

分列式は三月二十日午後七
時十分、公使館前、團衛に
て、山田口、木村勝太郎、
日原氏、日原氏、日原氏
日原氏は通行儀、よつて

林の五校からの推選者三名に對
して六日午後、中絶、電報検査
を行ひ、七八月日、口頭前
試験が行はるる豫定とあり、氏は
勝る。

今年度から大同學院卒業生は將
來の中心人物として進んで、それ
に約束を重んずるものである。そ
うであるから、その訓練に、それ
に奔走し、奔走にやる。また、國

國には文官分限令の制
の卒業生は自給的
である。此のほかに
見えて、このほか
死、即死のため、
三千圓を、
ことにつてゐる。

から將來、薩摩藩には與
が官制として支配
くないであらうと思

暗
の
京
城
驛

全驛員必死の活躍で
ダイヤもくるはど

各分會が團總統に集行し、
長官の招請により、諸所から
前に召集し、分別式進行す

五日午後六時十五分、京城驛の
警備が突如とした、何れこの驛
だけで開戦中の勢力に勝て難い
ある能光をつかつてゐる所であり
それが加へたので驛は實の悪い
間のなかにすひ込まれた、そこへ
もつて来て、龍田驛からも同列停
留した旨の電報あり、強襲した騎
兵隊を布いた、
流の散兵隊を布いた、
驛のなかでもダイアを
はと七時居城設の土城
じて設けさせ、さらに
四二〇列砲、砲臺の
りやら無防通過、七時
へついた、かくて、七時
停電十七分にしてペッ

に於ける開閉電燈のメ
に故障を發見、たゞ

泉之頭いづみのかしら 泉いづみ 木曾有きそくのことである

鮮ては 俄たの法文
曉、高士蘭水取給歸國
時着、そしてけさ（五日）
を期し、黃海を突つ切つた
が、午前中は煙火であつた
午後には砲声にあひ返り上り
開おこされた。

京圖線に重覆

警務員六名死傷

「奉天五日電」四日止、頃、新わき線の警備を派遣す
京師門行衛士一列中、先頭隊
甲隊車中に突撃、拉哈爾市進行中
警察官数人殺害、警備中の兵隊數人
死傷甚多。氏は即ち、同第幾
× 程現

國境警察官

平南綬貨車
増發

[illegible]

御用心

金を貰ひ廻
身長は普通で年齢は二十三

のを賣用し、特徴は赤味を著し、醜の人似い、やしらぬ青年府内を能く火の用心又は防などと思ひ、紙片を一枚位にて「青年團の基金に買つて下さい」とて各方面、街角、賑ひ廻る者がある。青年團とは何等關係がない。

讀むたいといふことである

先月名煙草
億二千萬本

口付合計一千五百四十萬本
計三億三千二百卅四萬本で
各支局別に示せば京城礦
萬本、ビョンウ三萬本、カイ
萬本、ビョン一十八百萬
六百萬本、マコ一億二百
本、牡丹三百卅萬本、全州
四千五百萬本、プルー一千
萬本、大邱朝日一千萬本
廿萬本、マコ一十七萬五

く"ら"や"み"の"

五日午後七時半ごろ京盛園
二番地の柵下を通行中の附

が暗やみの中で何かにつつき倒れたので、よく見るといえる老人が倒れ、しかもつなつてゐるのでおどろいてに駆け出た、行儀悪者で、名も知れぬ

炭泥棒 三日午後
城元町派出所の嶋山正三巡

訂正 二百附刊本囑發

中金基換とあるは金基勝の
昨々刊の京中僑生中寫
左三好恵一君を追加

暴風警報 五日午後
仁川觀測
風速
し、高
小季節風にして北乃至東
し、朝鮮全部沿岸を徘徊

急上
レントゲン

☆……これをきいた西郷
隊長「何んのこつたい。」

ものは、骨と竹でなく、
骸骨の頂で取かはすな
殺風景だらうぢやないや
は、そ一寸ウソモラスバ
いなア』

☆……ドクトル諸君おこ
けない、部長は「悲告」
ホルダーだから——。

[illegible]

